



2020年4月14日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ケ イ ブ
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 秋 田 英 好
(コード番号：3760、JASDAQ)
問 合 せ 先 代表取締役副社長 CFO 安 藤 裕 史
(TEL. 03-6820-8176)

株式報酬費用の発生に関するお知らせ

当社は、2020年5月期第3四半期連結会計期間（2019年6月1日から2020年2月29日まで）において、株式報酬費用（販売費及び一般管理費）を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式報酬費用の計上について

新型コロナウイルス感染症が全世界に拡大している影響で、個人及び企業活動が停滞しており、全世界的な経済の先行きに対する不透明感から、株式相場全体が急激に下落し、当社株式も2020年2月28日の終値が803円となりました。これによって当社が発行する第25回新株予約権の強制行使条件（※）に該当することとなり、2020年5月期第3四半期において株式報酬費用139百万円を計上することとなったものです。

株式報酬費用は、ストックオプション制度において、当社の業績向上や中長期的な株価維持への新株予約権付与者に対する労働サービスの対価として支払われる報酬であります。これはキャッシュアウトを伴わない費用であるため、当社の現預金残高に影響を及ぼすことはなく、将来権利が行使された際には、現預金と資本金が増額されるものです。

その結果、2020年4月期第3四半期連結累計期間の業績は売上高1,174百万円、営業損失223百万円、経常損失227百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失267百万円となりました。

また、2020年5月期第3四半期連結会計期間の業績は売上高440百万円、営業損失113百万円、経常損失114百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失147百万円となりました。

なお、株式報酬費用による影響を株式報酬費用の影響を除いた場合の2020年5月期第3四半期累計期間の営業損失は84百万円であり、2020年5月期第3四半期連結会計期間の営業利益は26百万円であります。

※割当日から本新株予約権の行使期間の終期に至るまでの間に、金融商品取引所における当社の普通株式の株価終値が一度でも行使価額（1,200円）に70%を乗じた価額を下回った場合、新株予約権者は残存する全ての本新株予約権を行使価額で行使期間の満期日までに行使しなければならないものとするものです。

2. 今後の見通し

株式報酬費用の計上を織り込んだ2020年5月期第3四半期連結累計期間の業績につきましては、本日公表の「2020年5月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

以上